

# 手洗い！重要です



## 手足口病 家族内感染にご注意を

### 感染症発生動向速報

(令和4年第21週分・5月23日～5月29日)

令和4年6月1日

富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

#### 《インフォメーション》

##### ●手足口病

手足口病は、一般に夏季に増加し、例年7月下旬頃(28～30週)に流行のピークを迎える傾向があります。患者の年齢は1歳が半数近くを占め、5歳以下が全体の9割以上となっています。先週、富山県内では定点医療機関あたりの手足口病の報告数は0.79人と一時的にわずかに増加しました(図)。コロナ禍以前は2017年、2019年と隔年で夏季に流行する傾向がありましたが、2020年～2021年には流行が認められませんでした。しかしながら、これから夏季に向けて患者数が増加する可能性もあることから、乳幼児の感染対策に注意が必要です。

手足口病は、コクサッキーウイルス(CA6、CA16)やエンテロウイルス(EV71)など複数のウイルスを原因とする感染症です。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹がみられます。発熱や食欲不振、のどの痛みなどがみられますが、一般的に軽症で、発疹は3～7日で消失します。まれに髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺などの神経系合併症がみられる場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣(けいれん)、意識が無くなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。現時点で手足口病のワクチンや抗ウイルス薬はありません。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。症状がなくなった後も、2～4週間は便からウイルスが検出されることがあります。次のことに注意して感染を予防しましょう。

- ▶ おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石けんと流水で手を洗う。
- ▶ 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- ▶ タオル等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

#### 《全数報告の感染症》

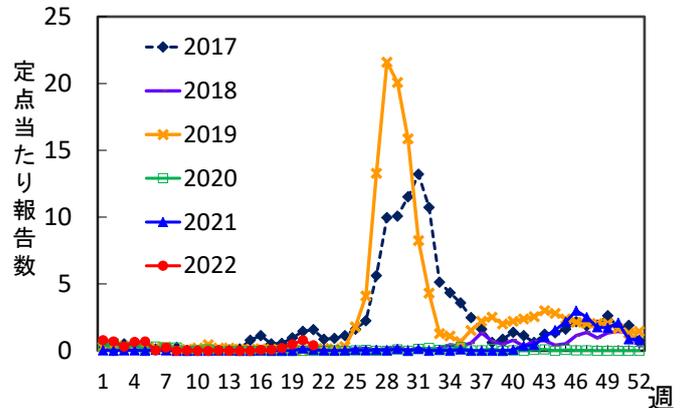
新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 939件(暫定値)  
 二類感染症 結核 2件(①80歳代、男性 ②80歳代、女性)  
 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件(①第20週診断分:20歳代、女性、O157、VT型不明  
 ②40歳代、男性、O血清群不明、VT2)  
 四類感染症 レジオネラ症 1件(80歳代、女性、ポンティアック熱型)  
 五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件(70歳代、男性)  
 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(第20週診断分:50歳代、男性)  
 梅毒 1件(70歳代、男性、無症候)

#### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	9.24(↑)	6.83
2位	RSウイルス感染症	0.59(↑)	0.21
3位	手足口病	0.41(↓)	0.79
4位	咽頭結膜熱	0.34(↑)	0.17
5位	突発性発しん	0.31(↓)	0.34
6位	流行性角結膜炎	0.29(↑)	0.00

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>  
 お問い合わせURL: [https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp\\_inquiry](https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry)

手足口病患者報告数(富山県)



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第21週 令和4年5月23日～令和4年5月29日）

分類	疾患	今週報告分（第21週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市 <sup>※1</sup>	その他 <sup>※2</sup>	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市 <sup>※1</sup>	その他 <sup>※2</sup>	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	95	65	274	99	404 <sup>※1</sup>	2	939	3,023	2,592	7,548	2,923	16,074 <sup>※1</sup>	164	32,324
二類感染症	結核			2				2	1	2	18	6	16		43
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1		1		1	4		3		8
四類感染症	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症					1		1	3		5	2	8		18
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	2		4
	急性脳炎										2				2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								2		5		5		12
	後天性免疫不全症候群												1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1		1			1		2		3
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		3		5
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒					1		1	2		5	2	15		24
	播種性クリプトコックス症												2		2
バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症			17				17	29	18	250	56	283		636
				2.13				0.59							
	咽頭結膜熱	2	3	3		2		10	30	17	119	7	37		210
		0.50	1.00	0.38		0.20		0.34							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		4		3		8	24	10	89	21	142		286
		0.25		0.50		0.30		0.28							
	感染性胃腸炎	10	28	77	39	114		268	375	483	1,153	485	1,418		3,914
		2.50	9.33	9.63	9.75	11.40		9.24							
	水痘			4		2		6		6	26	1	20		53
				0.50		0.20		0.21							
	手足口病		2	9		1		12	1	12	96	3	48		160
			0.67	1.13		0.10		0.41							
	伝染性紅斑								1		4	1	1		7
	突発性発しん	2		1	1	5		9	14	9	58	18	50		149
	0.50		0.13	0.25	0.50		0.31								
ヘルパンギーナ	1		1	1	1		4	41	7	23	2	7		80	
	0.25		0.13	0.25	0.10		0.14								
流行性耳下腺炎								1		5	1			7	
流行性角結膜炎			2				2	7	2	4				13	
			1.00				0.29								
細菌性髄膜炎											1	1		2	
マイコプラズマ肺炎											1			1	
インフルエンザによる入院患者（※3）											3	1		4	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。  
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。